

流通BMS(次世代EDI)ソリューション

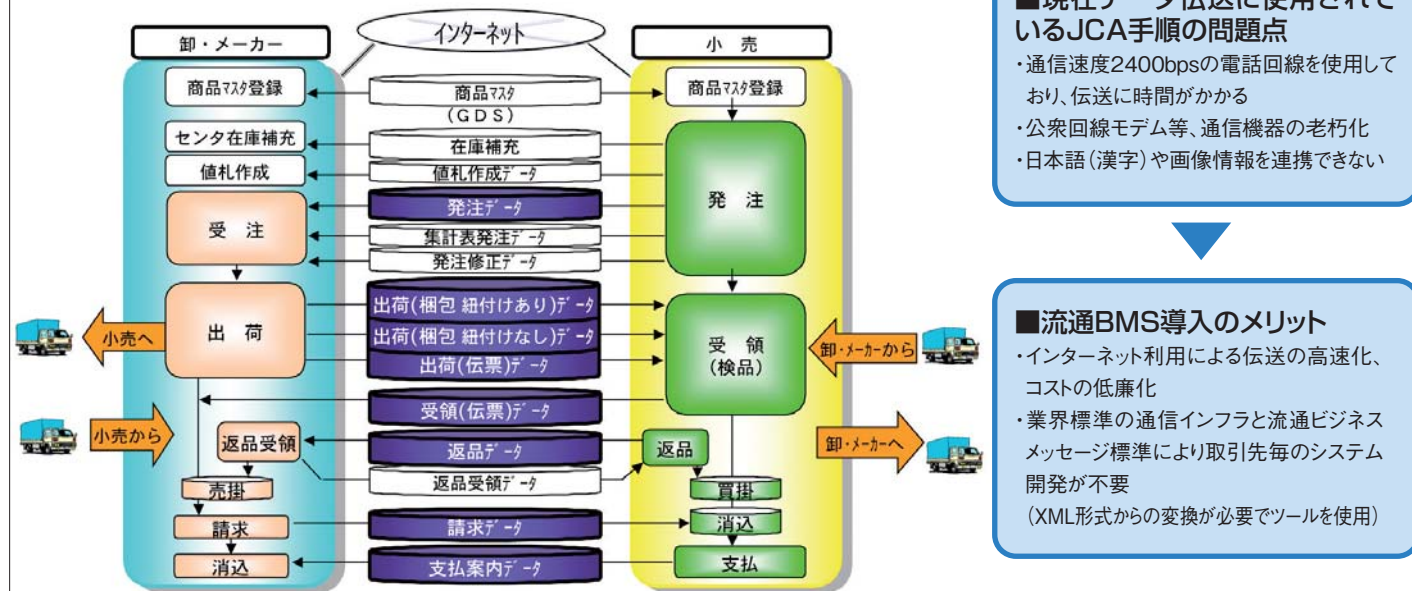
「ChainFlow」で小売業、卸売・メーカーとのコラボレーションを推進

流通BMS(流通ビジネスメッセージ標準)とは

- ① 経済産業省事業を通じて開発された、インターネット利用を前提とする流通業界における唯一のEDI標準です。
- ② 発注、出荷、受領、請求、支払などのEDIデータについて、メッセージフォーマット、データ項目をその形式のみならず使い方で標準を規定したものです。
- ③ データの表現形式は、現在広く使われているXMLを前提としています。
- ④ 通信インフラは、ebXML/MS、EDIINT AS2、JX手順といったインターネットEDIにおけるデファクトスタンダードを使用しています。
- ⑤ 平成18年3月に大手小売4社、卸売29社が参画し、ドライ商品を中心に実証実験を行い、本年度は衣料品、生鮮品に拡大して実証実験を行っています。



6業務8メッセージを標準化



■現在データ伝送に使用されているJCA手順の問題点

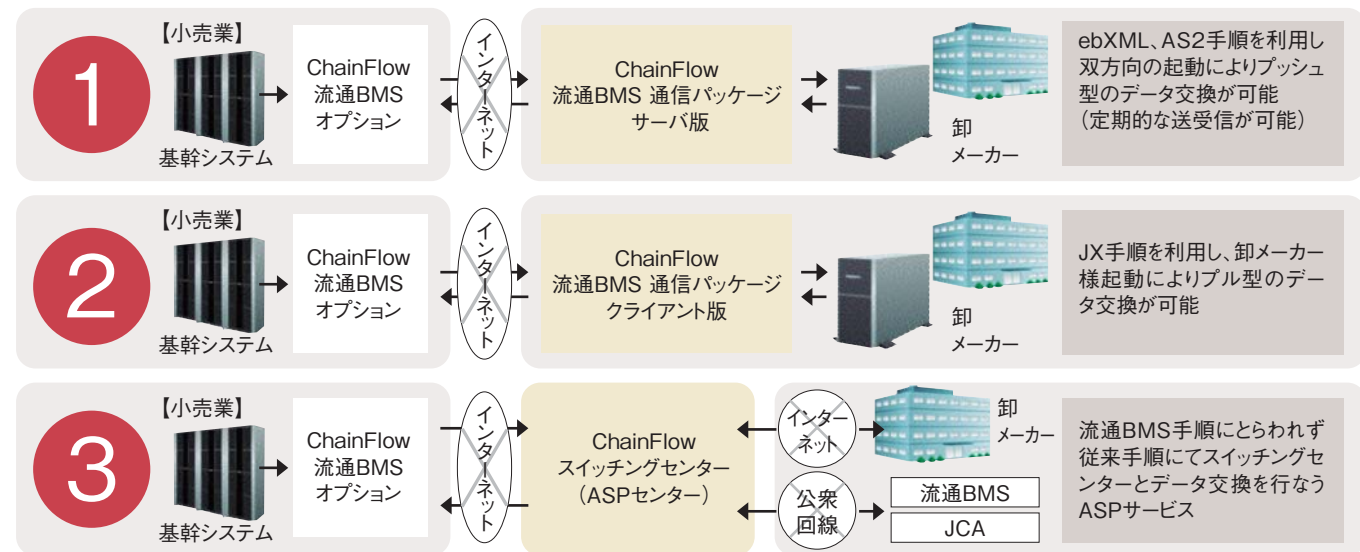
- ・通信速度2400bpsの電話回線を使用しており、伝送に時間がかかる
- ・公衆回線モデム等、通信機器の老朽化
- ・日本語(漢字)や画像情報を連携できない

■流通BMS導入のメリット

- ・インターネット利用による伝送の高速化、コストの低廉化
- ・業界標準の通信インフラと流通ビジネスメッセージ標準により取引先毎のシステム開発が不要 (XML形式からの変換が必要でツールを使用)

今後、流通BMSは大手量販店の本格導入を皮切りに普及することが想定されます。

ChainFlowは、小売業と卸売、メーカー間のコラボレーション推進をコンセプトに
 (1) 小売業様向け: WebEDI、流通BMSを含めた統合EDIのパッケージとASPサービス
 (2) 卸売様・メーカー様向け: 流通BMSパッケージ、スイッチングセンターサービスのトータルサポートを提供しています。



【導入事例】株式会社カネスエ様 東海地区で初めて流通BMS本格導入

きっかけはJCAからの脱却、取引先様とさらなるデータ共有化を図るため

流通BMS切り替えの取引先様説明会にて古川課長様より

高速インターネット網の普及によりWebEDIを導入して伝票レスを実現。まず流通BMSへの切り替えの目的の前に、弊社のEOS、EDIの取組みをご説明します。20年ほど前に電話やFAX発注に代わり、発注の合理化を目指して電話回線を使用したJCA通信によるEOSのターンアラウンド化を実施しました。当初グロサリーから始め、日配系の商品、その後生鮮の商品まで広げて現在に至っております。平成12年にグロサリー系の一部の取引先様より出庫のASNのデータをいただき、EDI化の一部取り入れて参りました。その後、日配の商品まで含めまして広く出庫データをいただき、検取データならびに事務作業の軽減に役立てて参りました。その後インターネット網の普及により本社と店舗間のブロードバンド化を、外部インターネット網の高速化、常時接続化の完了により、2005年6月から富士通中部システムズの「ChainFlow」でWebEDIシステムを導入致しました。

WebEDIでは受発注、在庫確定、検取確定、支払データの一元管理と取引先様とのデータの共有化を図って参りました。当初、JANコード商品のドライ系・グロサリー系から始めまして、その数ヶ月後、水産関係を代表とする生鮮商品までWebEDIを実施して参りました。生鮮の商品まで1つのシステムで行なうということで、いろいろ苦労もありましたが、取引先様のご協力・ご理解のおかげで、伝票レス化など一定の成果を得ることができました。



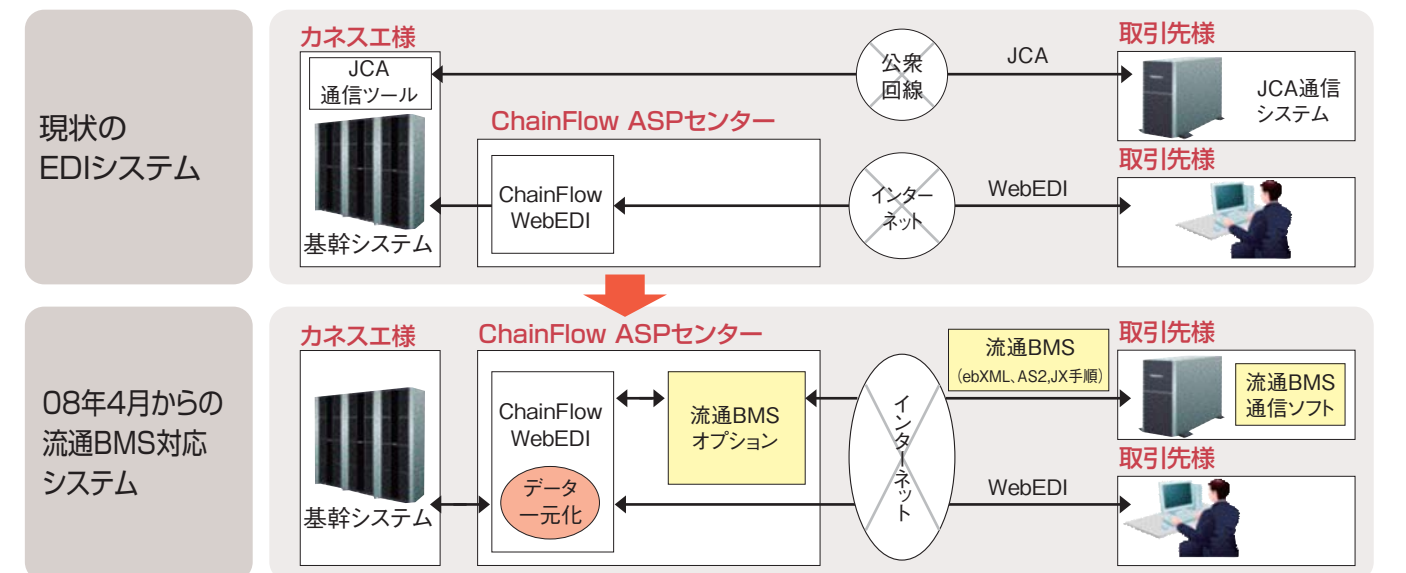
2008年5月15日
取引先様説明会にて



株式会社カネスエ 業務システム部
古川 課長様

より一層のEDI化と取引先様とのデータ共有化のためJCA通信から流通BMSへ切り替え

さて、今回の流通BMSへの切り替えについてですが、より一層のEDI化やデータの共有をもとにした、今よりも増して取引先様との信頼関係の構築ということを考えますと、従来型のJCAシステムの通信速度の限界や機器の老朽化もさることながら、成熟したレガシーなシステムであるがゆえの制限により、やり取りするデータは数字だけにならざるを得ません。そういった理由もありまして、今回カネスエは「JCAシステムからの脱却」という結論に至りました。今回、流通BMSを選定するにあたりまして、「ChainFlow」のWebEDIを導入している関係上、取引先様とのデータの統合化・一元化が可能であるということで、「ChainFlow」の流通BMSを導入することに決定し現在に至っております。すでに今年4月、一部の卸売様と流通BMSに切り替えを実施しておりますが、今年の11月までには現在のJCA通信でのデータ提供より全面切り替えを行う予定です。



- 導入状況と今後の予定**
- 2008年4月 伊藤忠食品様、バルタック様、菱食様の3社にて稼働
 - 2008年8月 花王カスタマーマーケティング様稼働予定
 - 2008年9月~11月 現行のJCA通信利用の取引先様は流通BMS、WebEDIへ切り替え予定



東海地区に特化した、食をテーマとしたスーパーマーケットチェーン。現在は自然食品店「旬楽膳」の展開等、愛知、岐阜、三重を中心に21店舗を展開。地域に密着した消費者の高い信頼を背景に、着実に成長を遂げています。